

平成 30 年度スポーツ庁委託事業

「Special プロジェクト 2020（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」

委託事業成果報告書

2019 年 4 月

神戸市

本報告書は、スポーツ庁委託事業「Special プロジェクト 2020 (特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業)」として、神戸市が実施した平成30年度の事業成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

## 目 次

1	事業の目的	2 頁
2	事業イメージ	2 頁
3	実施日程	3 頁
4	事業実施体制	3 頁
5	実施報告 【平成 31 年 2 月 23 日実施「やってみよう！！パラスポーツ体験会」】	4～6 頁
6	事業の効果	7 頁
7	反省点・改善点	7 頁

## 1 事業の目的

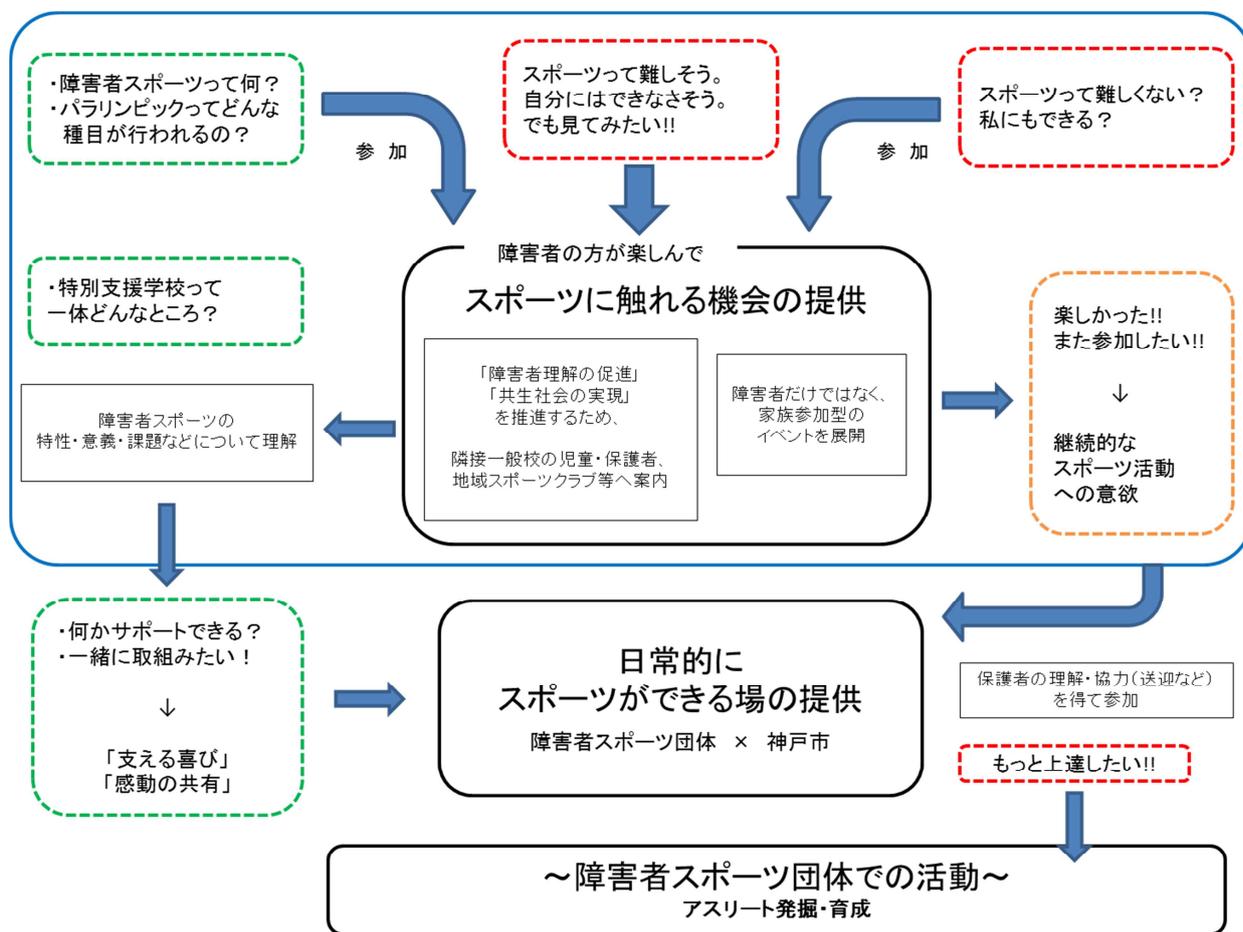
障害者がパラリンピアンプレーを「みる」ことにより、スポーツへの関心を高め、様々なスポーツ種目を体験することにより、継続的なスポーツ活動への意欲を育み、日常的にスポーツに取り組んでいくきっかけづくりとする。

平成30年度は、スポーツ体験イベントを実施するとともに、トップアスリートの講演等の「見る」ことに視点を置いた内容といった、多様な「スポーツに触れる機会の提供」を行うことで、障害者が日常的にスポーツの出来る更なる環境づくりにつなげていく。

さらに、東京2020パラリンピック開催に向けて、障害児・者のスポーツ活動の増進やスポーツ機運の醸成を図る。

## 2 事業イメージ

…平成30年度実施事業部分

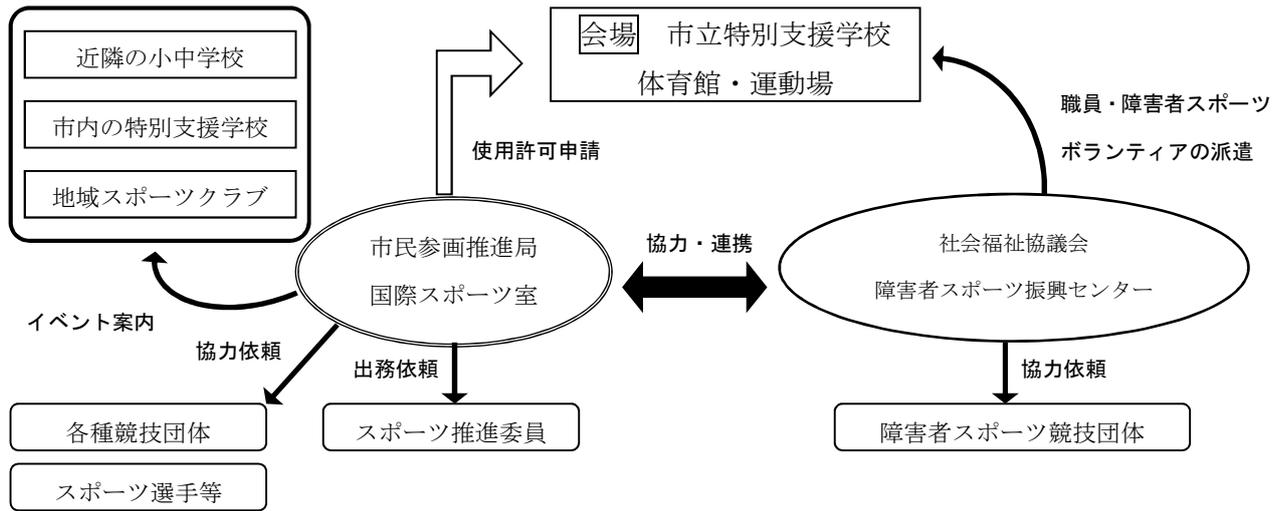


※ 本市における障害者スポーツ振興事業は、主に保健福祉局障害福祉課と障害者スポーツ振興センターが担っているが、本事業を市民参画推進局国際スポーツ室において行うことにより、特別支援学校施設の活用、小中学校・地域スポーツクラブ等への周知、スポーツ推進委員や各種競技団体の協力を図りやすいというメリットがあり、そこに障害者スポーツに関する専門的なノウハウとネットワークを有する障害者スポーツ振興センターと連携・協力することで、相乗的な効果が見込まれる。

### 3 実施日程

実施時期	実施事項
	地域交流型イベント
平成 31 年 2 月 23 日	「やってみよう！！パラスポーツ体験会」実施 【1部3時間（準備含む）】

### 4 事業実施体制



## 5 実施報告

### 【平成31年2月23日実施「やってみよう！！パラスポーツ体験会」】

#### 1. イベント概要

事業名 : 「やってみよう！！パラスポーツ体験会」

日時 : 平成31年2月23日(土) 10:00～12:00(受付9:30～)

場所 : 神戸市立青陽東養護学校 体育館及びグラウンド

〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町6丁目1番1号

参加対象 : 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、地域のスポーツ推進委員

実施内容 : 「第1部 トップアスリート(ボッチャ:原田浩明氏)による講演」

「第2部 ボッチャ・サッカー・卓球バレー・風船バレーのスポーツ体験会」

主催 : 神戸市市民参画推進局国際スポーツ室

協力団体 : 神戸市立青陽須磨支援学校、兵庫県ボッチャ協会、神戸市サッカー協会、  
神戸市障害者スポーツ振興センター、神戸市障害者スポーツボランティア、  
神戸市スポーツ推進委員協議会

#### 2. 募集方法

神戸市立の特別支援学校4校(青陽須磨支援学校・いぶき明生支援学校・青陽東養護学校・友生支援学校)の児童・生徒および保護者に学校経由でチラシを配布。

参加申し込みは神戸市市民参画推進局国際スポーツ室宛のFAX又は電子メールで受付。

#### 3. 当日の流れ

09:00 学校着、準備開始

09:30 参加者受付開始

10:00 開会挨拶【神戸市市民参画推進局国際スポーツ室 脇室長】

併せてイベントの概要説明や写真撮影等の注意事項について事務連絡

10:05 「第1部 トップアスリート(ボッチャ:原田浩明氏)による講演」開始

10:30 「第2部 ボッチャ・サッカー・卓球バレー・風船バレーのスポーツ体験会」開始

サッカーを体験する場合はグラウンドに、ボッチャ・卓球バレー・ふうせんバレーを体験する場合は体育館に分かれて実施。

※各体験コーナーの運営

・ボッチャ …兵庫県ボッチャ協会

・サッカー …神戸市サッカー協会

・卓球バレー …神戸市障害者スポーツ振興センター

・ふうせんバレー…神戸市障害者スポーツ振興センター

11:50 スポーツ体験会終了。

・グラウンドでサッカー体験をしている人も含めて体育館に全員集合。

11:55 閉会挨拶【青陽東養護学校 河地校長先生】

12:00 出口で記念品(東京2020マグネットバッジ等)配布。片付け開始。

12:30 片付け完了。点検後、撤収。

#### 4. 参加実績

(1) 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、地域のスポーツ推進委員 (40人)

※特別支援学校：青陽東養護学校・青陽須磨支援学校・友生支援学校・いぶき明生支援学校

青陽東養護学校 16人 (子ども10人+保護者6人)

青陽須磨支援学校 7人 (子ども6人+保護者1人)

友生支援学校 2人 (子ども1人+保護者1人)

いぶき明生支援学校 3人 (子ども2人+保護者1人)

当日参加者 3名 (子ども2人+保護者1人)

神戸市スポーツ推進委員協議会 9人

※参加者の位置付けで参加 (受付業務等をお願いした。)

	小学部	中学部	高等部	保護者 ・友人	スポーツ 推進委員	当日参加者	合計
青陽東養護学校	0	1	7	8	-	-	16
青陽須磨支援学校	0	0	3	4	-	-	7
友生支援学校	0	0	1	1	-	-	2
いぶき明生支援学校	1	0	0	2	-	-	3
その他	-	-	-	-	9	3	12
合計	1	1	11	15	9	3	40

(2) 競技団体等運営体制 (31人)

講演者 (ボッチャ：原田浩明氏) 1人

兵庫県ボッチャ協会 3人

神戸市サッカー協会 8人

神戸市障害者スポーツ振興センター職員 4人

障害者スポーツボランティア 8人

青陽須磨支援学校 2人

神戸市市民参画推進局推進局国際スポーツ室 5人

参加・運営 合計71人

#### 5. 当日の様子

①受付



②開会挨拶



③ トップアスリート（ボッチャ：原田浩明氏）による講演



④ ボッチャ



⑥ 卓球バレー



⑧ 閉会挨拶



⑤ サッカー



⑦ 風船バレー



## 6 事業の効果

- ・特別支援学校の児童・生徒がトップアスリート(ボッチャ)の生のプレーを「みる」ことで、ボッチャに関心を示し、その後の体験会へ積極的に参加する姿が多く見受けられ、障害者スポーツの振興に繋がった。
- ・障害者スポーツ団体等の協力のもと実施した当事業を通じて、特別支援学校の生徒・児童が実際にスポーツを「みる」「する」機会を提供することで、東京 2020 パラリンピックの機運醸成の一環となった。

## 7 反省点・改善点

- ・講演者の選定に時間を要したことから、参加者の参加者の募集期間が短くなってしまった。
- ・スポーツ体験会に関して、時間帯によっては特定のスポーツに人が集中することがあったので、スタンプラリーなどを活用して周遊させる仕組みがあればよかった。
- ・本体験会の実施により、障害者スポーツに触れる機会の提供はできたが、さらに一歩進め障害者スポーツの拠点を構築するためには、学校関係者や競技団体、地元住民等多くの関係者の参画のもと、時間と労力を十分に注力する必要がある。
- ・今後同様の事業を実施する際には、この度の反省点をもとに改善につなげられればと考える。